Lesson 3 Nervous and Excited About Homestay

文型

問題編 p.33～p.45

Check Key Point の確認

3-1 Basic

1(1) I(**S**) walked(**V**) slowly.（訳 私はゆっくり歩きました。）
(2) He(**S**) is(**V**) Ken(**C**).（訳 彼はケンです。）
(3) She(**S**) likes(**V**) cats(**O**).（訳 彼女はネコが好きです。）
2(1) **I go** to school every day.
(2) **He runs** very fast.
3(1) I **have** a **pen**.
(2) Jim **plays baseball** after school.
(3) I **know him** very well.
4(1) Her name **is** Mika.
(2) Ken **looks** tired. ➡ look「～に見える」。
(3) This tea **smells** good. ➡ smell「～のにおい〔香り〕がする」。
(4) My sister **became** a nurse. ➡ become「～になる」。

3-1 Standard

1(1) I(**S**) usually(×) go(**V**) to bed(×) at ten(×).（訳 私はたいてい１０時に寝ます。）
(2) I(**S**) am(**V**) a student(**C**) at this school(×).（訳 私はこの学校の生徒です。）
(3) He(**S**) has(**V**) breakfast(**O**) every day(×).（訳 彼は毎日，朝食を食べます。）
(4) The cat(**S**) on the sofa(×) is sleeping(**V**).（訳 ソファの上のネコは寝ています。）
2(1) **I watched TV with my father.**（訳 私は父とテレビを見ました。）
(2) **My brother became a doctor.**（訳 私の兄〔弟〕は医者になりました。）
(3) **You look hungry.**（訳 あなたはおなかがすいているように見えます。）
(4) **The young man became famous on the Internet.**（訳 その若い男性はインターネットで有名になりました。）
(5) **It is getting dark outside.**（訳 外は暗くなってきています。）➡ get「～になる」。
3(1) **Mary looked 〔appeared〕 very sad then.**
(2) **This juice tastes sweet.**
(3) **His plan sounds interesting.** ➡「…に聞こえる」は sound。
(4) **I feel so happy today.** ➡「幸せな気分です」は「幸せと感じています」と考える。「…と感じる」は feel。

3-2 Basic

1(1) I **gave** Paul a T-shirt.
(2) My father **showed** me an old map.
(3) Ms. Brown **teaches** us English.
(4) Would you **lend** me your bike?
(5) Did you **send** her an e-mail?
2(1) その教師は**その生徒に（１冊の）ノートを**手渡しました。
(2) **私にコップ１杯の水を**持ってきてくれますか。

(3) その少女は**友だちに自分の〔彼女の〕犬を**見せていました。
(4) 両親は**私に新しい机を**買ってくれました。
3(1) Shall I make a toy **for** your son?
(2) He sends a letter **to** his grandmother every month.
(3) Did he show the picture **to** you?
(4) Could you get a ticket **for** me?

3-2 Standard

1(1) Could you **pass me** the sugar? ➡ 食卓などで自分の手の届かないところにあるものや人の目の前にあるものを，人に頼んで取ってもらう時は，pass（～を手渡す〔回す〕）を使って言う。
(2) Mr. Kato **taught** math **to** us last year. ➡〈S + V + O + to〔for〕～（人）〉の文で，前置詞に to と for のどちらを使うかは，動詞によって決まっている（参照 問題編 p.35）。
(3) I have to **choose** a new dictionary **for** Ann.
2(1) **I'll give him some pencils.**（訳 私は彼に鉛筆を何本かあげるつもりです。）
(2) **My brother sent them some pictures.**（訳 私の兄〔弟〕は彼らに写真を何枚か送りました。）
(3) **John showed us his new racket.**（訳 ジョンは私たちに新しいラケットを見せてくれました。）
3(1) Tom's mother made sandwiches and salad **for us**.（訳 トムのお母さんは私たちにサンドイッチとサラダを作ってくれました。）
(2) Did Mr. White tell an interesting story **to you**?（訳 ホワイト先生〔さん〕はあなたたちに興味深い話をしてくれましたか。）
(3) My father will buy a new video game **for me**.（訳 父は私に新しいテレビゲームを買ってくれるでしょう。）
4(1) **I'll lend Ken my camera tomorrow.**
(2) **She cooked lunch for her parents.**
(3) **I'll give these magazines to my brother.**

3-3 Basic

1(1) Takuya's friends call him **Taku**.
(2) Please keep your dog **quiet**.
(3) People will elect him **captain** of the team.
(4) He painted the wall of his room **yellow**.
(5) We found the movie very **exciting**.
2(1) The boy **made** his mother angry.
(2) They **named** their baby Paul.
(3) Let's **leave** him alone.
(4) We **found** the hotel too expensive.
(5) **What** do you **call** your sister?
3(1) ジョンはトムと一緒に**いすを作りました。**➡〈S + V + O〉の文。with Tom は修飾語句。
(2) メアリーは私たちに**チキンスープを作ってくれました。**➡〈S + V + O + O〉の文。
(3) これらの本が彼を日本で**有名にしました。**➡〈S + V + O + C〉の文。動詞のあとに〈A + B〉

が続いている時，この文のように意味の上でA（him）＝B（famous）の関係が成り立つなら〈S＋V＋O＋C〉の文，(2)のようにA（us）≠B（chicken soup）なら〈S＋V＋O＋O〉の文。

3-3 Standard

1(1) My friend Yuto gave me(**O**) a Japanese comic book(**O**).（訳 私の友だちのユウトは私に日本のマンガの本をくれました。）

(2) Mika always keeps her room(**O**) clean(**C**).（訳 ミカはいつも自分の部屋をきれいにしています。）

(3) I made him(**O**) a paper plane(**O**).（訳 私は彼に紙飛行機を作ってあげました。）

(4) I think the drama will make him(**O**) a famous actor(**C**).（訳 私は，そのドラマが彼を有名な俳優にすると思います。）

2(1) Bob **painted** his bike **red**.

(2) This story **makes** me **happy**.

(3) We usually **call her** Rina-chan.

(4) We will **elect** him **captain**.

(5) Please **keep** the room **warm**. ➡ keepは「意図的に～を…の状態にしておく」ことを表す。

3(1) **We named our daughter Jane.**

(2) **My father said he would paint the wall white.**

(3) **Don't leave the door open.**

(4) **She found the work very interesting.**

Exercise 練習問題

Step 1

1(1) I think milk **makes us** strong.

(2) Janet **gave him** some cookies.

(3) Please **send them to** me. ➡ 直接目的語がitやthemなどの人称代名詞の場合には〈S＋V＋O＋to〔for〕～〉の形にするのが自然。

(4) We should not paint **this car pink**.

2(1) Lisa **looked** happy when I met her this morning.（訳 今朝私がリサに会った時，彼女はうれしそうでした。）

(2) His words **made** me very sad.（訳 彼の言葉は私をとても悲しくさせました。〔彼の言葉を聞いて私はとても悲しくなりました。〕）➡ me very sadは，A（me）＝B（very sad）の関係が成り立つので〈S＋V＋O＋C〉の文。この文は人を主語にして訳すこともできる。

(3) She **became** the best tennis player in her school.（訳 彼女は学校でいちばん上手なテニスの選手になりました。）

(4) My grandmother **bought** me a beautiful dress.（訳 祖母は私にきれいなドレスを買ってくれました。）

3(1) **I'll give her this book for her birthday.**

(2) **My father looked tired after a long flight.**

(3) **Would you cook a hot meal for us?** ➡ forがあるので〈S＋V＋O＋for～〉の文。

(4) **The new job keeps us very busy every day.** ➡ keepは「～を…の状態にしておく」の意味の動詞。与えられた日本語を「新しい仕事は私たちを毎日，忙しい状態にしています。」と言い換えて考える。

Step 2

1(1) **When Nanako was a little girl, we called her Nana-chan.**（訳 ナナコが小さい少女だった〔幼い〕時，私たちは彼女をナナちゃんと呼びました。）

(2) **Will you leave the door open?**（訳 ドアを開けたままにしておいてくれますか。）

(3) **Maria told me that she could play the guitar.**（訳 マリアはギターを弾くことができると私に言いました。）

2(1) **We have to keep our classroom clean.**（訳 私たちは教室をきれいにしておかなければなりません。）➡〈S＋V＋O＋C〉の文なので，状態を表す補語は目的語のあとにくる。

(2) **Can I get you a cold drink?〔Can I get a cold drink for you?〕**（訳 冷たい飲み物をお持ちしましょうか。）

(3) **Her mother will choose a nice sweater for her.〔Her mother will choose her a nice sweater.〕**（訳 彼女の母親は彼女にすてきなセーターを選んでくれるでしょう。）

(4) **Will you lend this book to me?〔Will you lend me this book?〕**（訳 この本を私に貸してくれませんか。）

3(1) Ms. Suzuki **teaches us** music.（訳 鈴木先生は私たちに音楽を教えています。）

(2) The song **makes** me **happy**.（訳 その曲は私を楽しくさせます〔幸せな気分にします〕。）

(3) I passed **the box to** Nancy.（訳 私はその箱をナンシーに渡しました。）

4(1) **We bought a birthday present for our mother.**（訳 私たちは母のために誕生日プレゼントを買いました。）

(2) **Please show your new smartphone to me.**（訳 私にあなたの新しいスマートフォンを見せてください。）

(3) **Did he tell you the story?**（訳 彼はあなたにその話をしましたか。）

(4) **My aunt made me some cute dolls.**（訳 おばは私にかわいい人形をいくつか作ってくれました。）

Step 3

1(1) **What do you call this fish in English?** ➡ sayは〈S＋V＋O＋C〉の文で用いることはできない。sayが不要。sayを使ってほぼ同じ内容を表すと，How do you say this fish in English?（英語でこの魚をどう言いますか。）となる。

(2) **Ms. White always keeps the kitchen clean.** ➡ findは「～が…とわかる」。findが不要。

2(1) **Ann gave me some cookies. / Ann gave some cookies to me.**（訳 アンは私にクッキーをくれました。）➡「AにBを与える」は〈give＋A＋B〉の語順。〈give＋B＋to A〉と表すこともできる。

(2) **My father bought my brother a bike〔bicycle〕. / My father bought a bike〔bicycle〕for my brother.**（訳 父は弟に自転車を買ってあげました。）➡「AにBを買う」は〈buy＋A＋B〉の語順。〈動詞＋B＋to〔for〕A〉で表す場合はforを使う。

(3) **My sister passed me the〔her / my〕smartphone. / My sister passed the〔her / my〕smartphone to me.**（訳 姉は私にスマートフォンを手渡しました。）

Step 4

解答例

例1 **This is Anthony Brown. I call him Tony. He teaches me English.**（訳 こちらはアンソニー・ブラウンです。私は彼をトニーと呼んでいます。彼は私に英語を教えてくれます。）

例2 **This is Elizabeth White. I call her Beth. She teaches me math.**（訳 こちらはエリザベス・ホワイトです。私は彼女をベスと呼んでいます。彼女は私に数学を教えてくれます。）

➡「A をB と呼ぶ」は〈call + A + B〉の語順。A は目的語，B は補語。「A にB を教える」は〈teach + A + B〉で，AB ともに目的語。〈teach + B to A〉と表してもよい。

Step 5

(1) ① **and** ② **but** ③ **because**

(2) ④ **あなたたちが僕を「テッド」と日本語で呼ぶと，僕には少しおかしく聞こえます。**

➡ When you ...は，ここでは「あなたたちが…すると」と訳すとよい。sound（〜に聞こえる）は be 動詞と同じように補語をとる。it は Ted を指している。funny（おかしく；こっけいな）に a little（少し）がついているので，「少しおかしく聞こえる」という意味になる。

⑤ **だから僕をテディと呼んでください。** ➡〈call + A + B〉は「A をB と呼ぶ」。

(3) **We told him our names**（訳 私たちは私たちの名前を彼に言いました）➡〈S + V + O（〜（人）に）+ O（…（もの；こと）を）〉の語順にする。

(4) **we gave him a list of our names**（訳 私たちは彼に私たちの名前のリストをあげました）➡ to him を him とし，a list of our names を直接目的語にする。

(5) (i) Why is Ted living in Japan with his grandparents now? —— **Because his school in Canada is already in summer vacation.**（訳 テッドはなぜ今は日本で祖父母と住んでいるのですか。—— カナダの学校がもう夏休みだからです。）➡ 1〜2 行目を参照。

(ii) What did Ted show his new friends? —— **He showed them some pictures of him and his friends in Canada.**（訳 テッドは新しい友だちに何を見せましたか。—— 彼とカナダの友だちの何枚かの写真を見せました。）➡ 12 行目を参照。

全訳

テッドはカナダ出身の新しい友だちです。カナダの彼の学校はすでに夏休みなので，今はおじいさんおばあさんと一緒に私たちの町に住んでいます。

昨日，私たちは英語の時間に彼の歓迎会をしました。英語の田中先生が私たちにたくさんカップケーキを買ってくれました。とてもおいしかったです。テッドもそのカップケーキが大好きだと言いました。カップケーキを食べたあと，私たちはジェスチャーゲームをしました。彼はあまり日本語が上手に話せませんし，私たちはあまり英語が上手に話せませんが，田中先生が私たちを助けてくれたので，ゲームを楽しみました。私たちは楽しい時間を過ごしました。

テッドは，「あなたたちが僕を『テッド』と日本語で呼ぶと，僕には少しおかしく聞こえます。だから，僕をテディと呼んでください。」と言いました。私たちは彼に自分たちの名前を教えましたが，彼は覚えることができなかったので，私たちの名前のリストを彼にあげました。

テッドは彼とカナダの友だちの写真を何枚か見せてくれました。彼はカナダの学校生活の話をしてくれました。夏休みの間，宿題はまったくないと言っていました。カナダの彼の学校は私たちの学校とはずいぶん違う，と私は思いました。

語句チェック

□ welcome party「歓迎パーティー」
□ be different from 〜「〜とは違う，異なっている」

まとめの問題①

問題編 p.46〜p.47

1(1) I **had to go** to the doctor yesterday. ➡「…しなければならなかった」という過去の'義務・必要'は〈had to + 動詞の原形〉で表す。

(2) **When** I was five years old, I **visited** Hawaii. ➡ when は接続詞として「…（する）時」という意味を表す。

(3) These flowers **smell** sweet. May I have one?

(4) You look thirsty. **Shall** I bring a glass of water for you?

2(1) You should brush your teeth **before** you go to bed.（訳 寝る前に歯を磨いたほうがいいですよ。）➡「歯を磨く」と「寝る」との時間の順序を考える。

(2) It's cold today. Be careful, **or** you will catch a cold.（訳 今日は寒いです。気をつけなさい，そうしないと風邪をひきますよ。）➡〈命令文, or ...〉「〜しなさい，そうしないと…」の文。「気をつける」と「風邪をひく」の関係を考える。

(3) Shall I give my dictionary **to** your brother?（訳 私の辞書をあなたのお兄〔弟〕さんにあげましょうか。）➡ give は〈S + V + O + O〉の文で〈give + 人 + もの〉，または〈S + V + O〉の文で〈give + もの + to + 人〉の形をとる。

(4) Her name is Megumi, so we **call** her Megu.（訳 彼女の名前はメグミなので，私たちは彼女をメグを呼びます。）➡ so のあとは〈S + V + O + C〉の文。

(5) I thought that my brother **was** studying in his room.（訳 私は兄〔弟〕が部屋で勉強していると思っていました。）➡ 主節の動詞が thought と過去形なので，時制の一致により従節の動詞も過去形の was となる。

3(1) A：Why is Mary late for the party? B：**Because** she missed the bus.（訳 A：なぜメアリーはパーティーに遅れたのですか。 B：バスに間に合わなかったからです。）➡ Why ...? に対して理由を答える時は，Because .... （…だからです）と言う。

(2) A：**Will〔Would ; Could ; Can〕you** pass me the sugar? B：Sure.（訳 A：砂糖を取ってもらえますか。 B：いいですよ。）➡〈Will you + 動詞の原形 ...?〉で「…してくれますか」という依頼を表すことができる。より丁寧に，Could you ...? / Would you ...? と言うこともできる。

(3) A：**Shall we** take a picture here? B：Yes, let's. Please use my camera.（訳 A：ここで写真を撮りませんか。 B：はい，そうしましょう。私のカメラを使ってください。）

4(1) **If you don't do your homework now, you will be late for the party.**（訳 今宿題をしないとパーティーに遅れますよ。）➡〈命令文，or ...〉「〜しなさい，そうしないと…」の文を，if を用いて「もし〜しなければ…」の文に書き換える。don't が必要になることに注意。

(2) **My friend made a birthday cake for me.**（訳 友だちが誕生日ケーキを私のために作ってくれました。）➡ make は〈S + V + O + for + 人〉の形で用いる。

(3) **What a beautiful Christmas card he sent me!**（訳 彼はなんと美しいクリスマスカードを送ってくれたのでしょう。）➡ もとの文は〈S + V + O + O〉の文。What を用いて，a beautiful Christmas card という名詞句を強調する感嘆文にする。〈What + a〔an〕+ 形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞 !〉の形で，「なんと…な〜でしょう」という意味を表す。

(4) **How hot this soup is!**（訳 このスープはなんて熱い〔辛い〕んでしょう。）➡ 形容詞・副詞を強調する時は how を使う。〈How + 形容詞〔副詞〕+ 主語 + 動詞 !〉で，「なんと…でしょう」という意味。